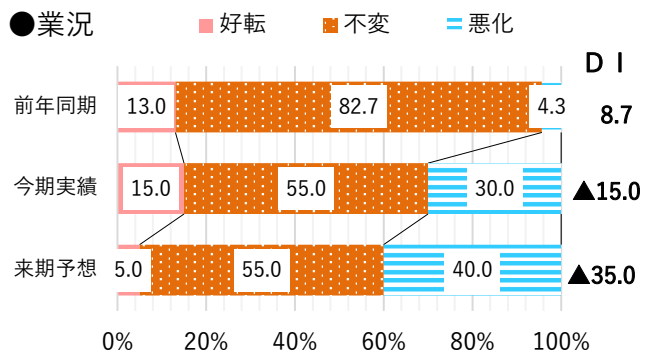


建設業

業況、売上、採算

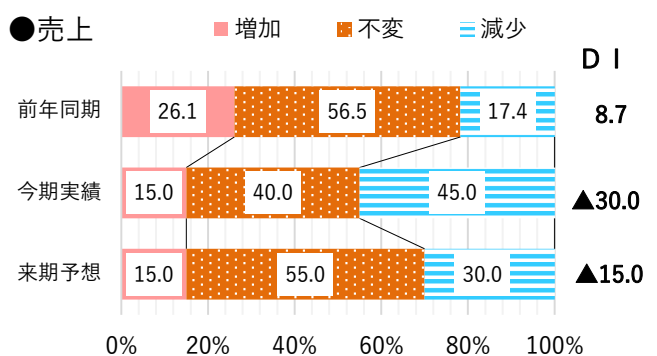
今期（2025.7～9）の業況判断DIは▲15.0で、前年同期（2024.7～9）と比べ23.7ポイント低下しました。

来期（2025.10～12）の業況DIは今期（2025.7～9）と比べ20.0ポイント低下すると予想しています。



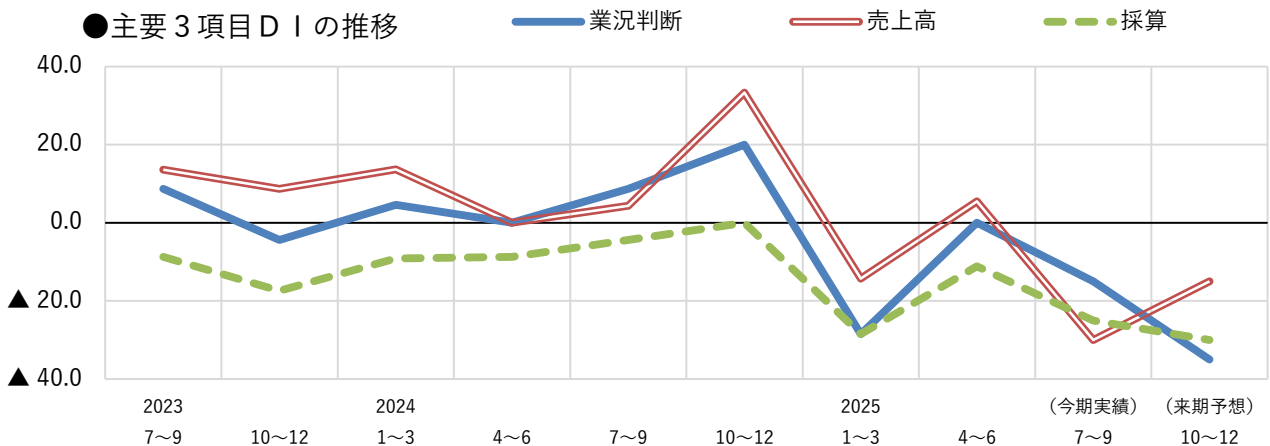
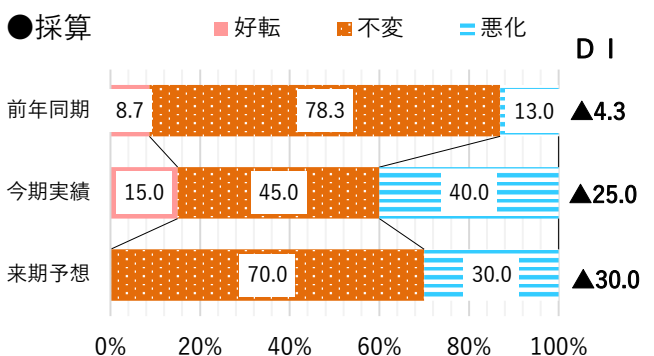
今期の売上高DIは▲30.0で、前年同期と比べ38.7ポイントと大幅に低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ15.0ポイント上昇すると予想しています。



今期の採算DIは▲25.0で、前年同期と比べ20.7ポイント低下しました。

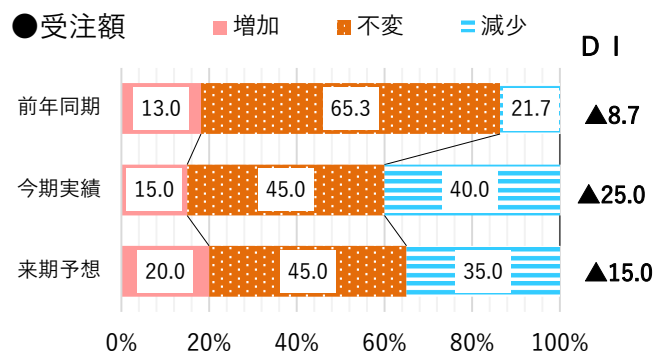
来期の採算DIは今期と比べ5.0ポイント低下すると予想しています。



受注（新規契約工事）額、契約残（未消化工事高）、材料仕入単価

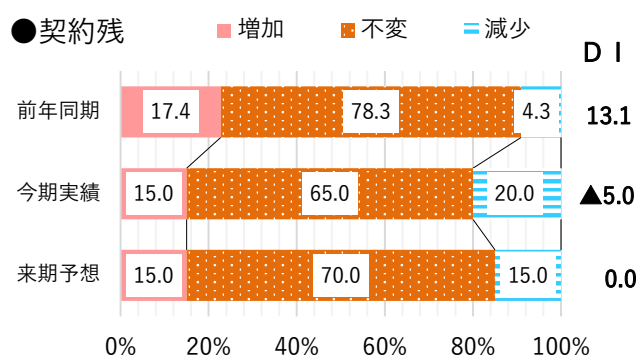
今期の受注額DIは▲25.0で、前年同期と比べ16.3ポイント低下しました。

来期の受注額DIは今期と比べ10.0ポイント上昇すると予想しています。



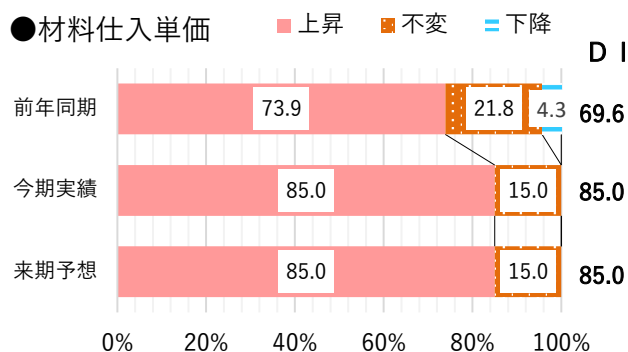
今期の契約残DIは▲5.0で、前年同期と比べ18.1ポイント低下しました。

来期の契約残DIは今期と比べ5.0ポイント上昇すると予想しています。



今期の材料仕入単価DIは85.0で、前年同期と比べ15.4ポイント上昇しました。

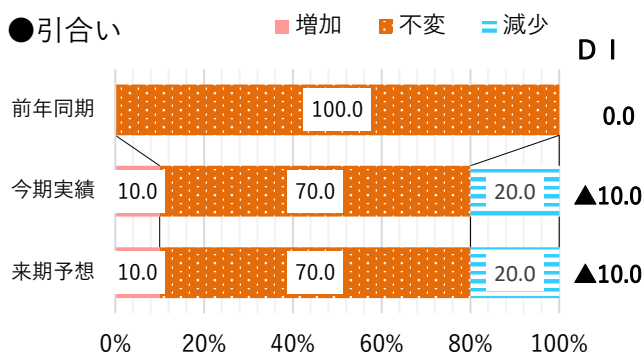
来期の材料仕入単価DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



引合い

今期の引合いDIは▲10.0で、前年同期と比べ10.0ポイント低下しました。

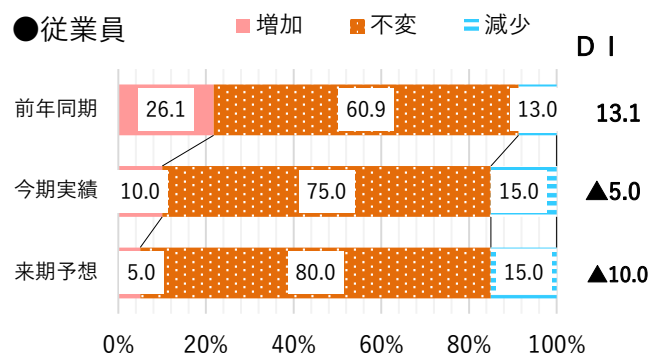
来期の引合いDIは今期と比べ変化なしと予想しています。



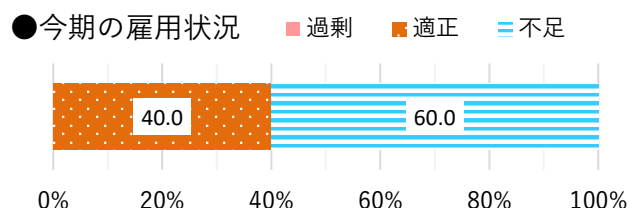
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲5.0で、前年同期と比べ18.1ポイント低下しました。

来期の従業員DIは今期と比べ5.0ポイント低下すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は40.0%、不足していると回答した企業の割合は60.0%でした。



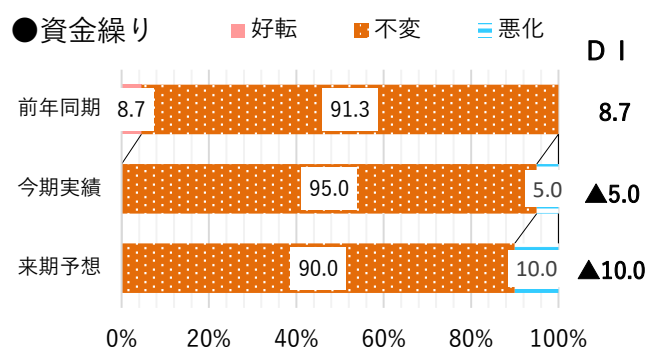
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、40.0%を占めました。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	8
	不足	7
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	3

資金繰り、設備投資

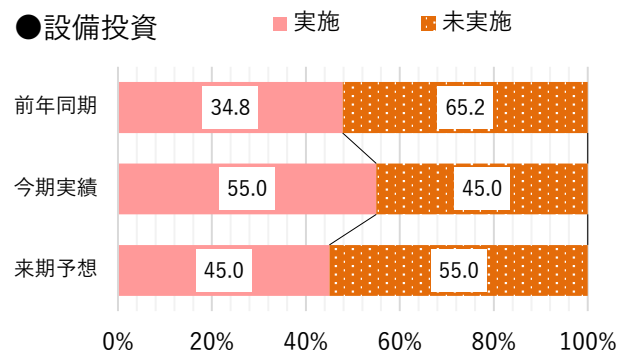
今期の資金繰りDIは▲5.0で、前年同期と比べ13.7ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ5.0ポイント低下すると予想しています。



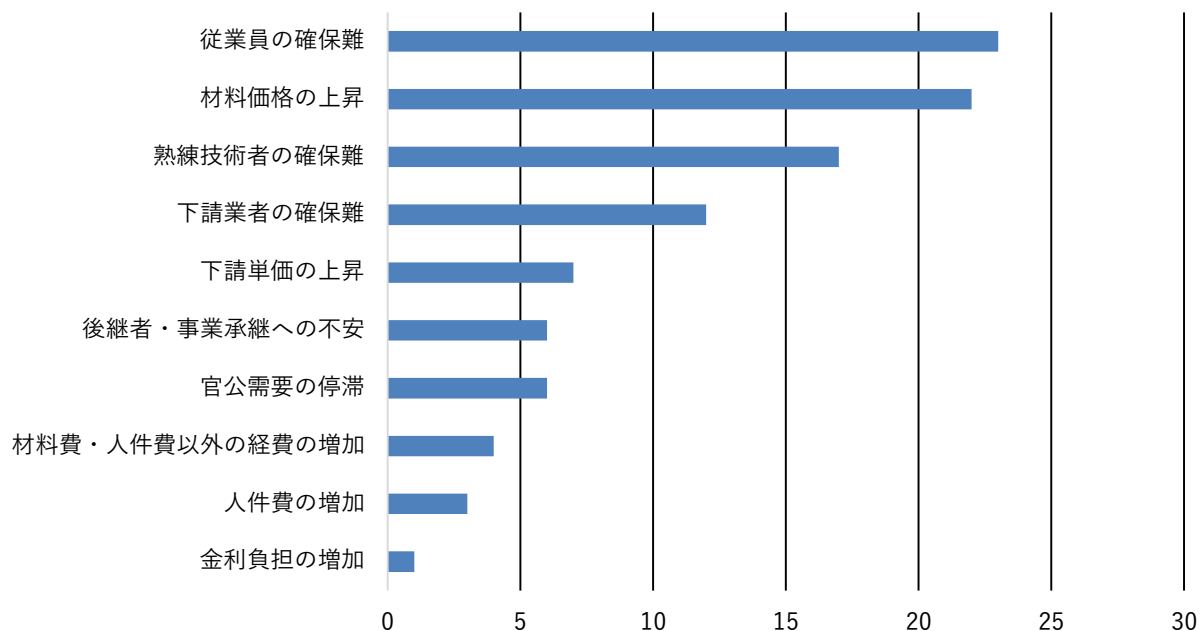
今期の設備投資は55.0%が実施と回答し、前年同期と比べ20.2%上昇しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、2位が「O A 機器」でした。

来期は45.0%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「材料価格の上昇」、3位が「熟練技術者の確保難」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 人材不足が課題。(一般土木工事業)
- 材料費、仕入価格は上昇したが、受注がしやすくなった。(一般土木工事業)
- 年間維持作業が主な売上のため、中間前払金等でなんとかまかなえている。(造園業)
- 受注・売上ともに減少している。(一般管工事業)
- 完成工事額、受注額ともに上昇し今期は利益が出ているが材料価格が上昇しているので来期は不安。
(電気工事業)

[来期の業況について]

- 人材不足。(一般土木工事業)
- 冬季に入ることによって工事売上が減少する。(造園業)

- 受注・売上ともに減少が継続する見込み。（一般管工事業）
- 前期と同様と予想する。（電気工事業）